

# 女と男いきいきネット

ひと ひと  
女と男いきいきネットワーク久喜・通信第25号 2016, 6, 24 発行

総会記念  
講演

四月十五日(金)午後一時  
半より、女と男いきいきネット  
第十三回総会がふれあいセ  
ンター久喜視聴覚室にて開催  
されました。

一年間の事業報告・会計、  
次年度の事業計画・会計・役  
員体制が承認されました。こ  
れからの二年間、倉持会長の  
もと緩やかなつながりで各団  
体の活動を進めていくことを  
確認しました。

休憩ののち、総会の記念講  
演「DV被害者への支援とD  
Vの子どもに与える影響」心  
理教育プログラム(びーらぶ)  
の取り組みについて」が、永  
野真理さん(埼玉県県民生活  
部男女共同参画課DV担当)  
によって行われました。これ  
は県の出前講座でもあります。

## DV被害者への支援とDVの子どもに与える影響 〜心理教育プログラム「びーらぶ」の取り組みについて

講師 埼玉県男女共同参画課 永野 真理さん

まずDVとは何か?という  
と、「夫婦や恋人など親密な間  
柄の中で行われる暴力のこ  
と」です。

また、夫婦喧嘩とどこが違  
うのか?という点、次の点の  
有無がその判断基準になりま  
す。

\*夫と妻が対等の関係にあ  
るか。

\* (けんかになった)  
特定の要因があるか。

\* 相手に対して「怖  
い」と言う気持ちを抱  
いていないか。

\* いつも相手の顔色  
を窺って生活してい  
ないか。

\* 暴力が繰り返し複  
合的に起きていない  
か。



身体的暴力・精神的暴力・  
性的暴力などわかりやすい暴  
力もありますが、必要な生活  
費を渡さない経済的暴力、メ  
ールのチェックをするデジタ  
ル暴力、「誰のおかげで生活で  
きるんだ」などの言葉の暴力  
とか、わかりにくいものもあ  
ります。また、子どもを利用

子どもへの加害をほのめかすことも該当します。手段としての意識的な「暴力」で加害者は必要な場面では怒りを抑えることが出来ます。

被害者はどのくらいいるのかと言え、配偶者からの被害経験でいえば女性の三人に一人が経験をしています。その中の五人に一人が命の危険を経験しています。

埼玉県では平成十四年では三〇〇〇件未満でしたが平成二十六年の相談件数が四七三九件に上っています。しかし、これは氷山の一角であり、平成二十四年度の意識調査では役所の相談窓口での受け付けは10、6%であり多くの方は家族や・親戚に相談しています。

では、なぜDVが起きるのでしょうか？ その背景には、暴力を容認しがちな社会風潮、男性優位・女性の従属意識、圧倒的な経済力の格差があります。

加害者は様々であり、会社

や近所では「温厚な人」と思われていた場合もあります。それでは被害者はなぜ逃げないのでしょうか。怖くて逃げられなかったり、経済的に自立困難であったり、子どもを父親の無い子にしたいくないなど様々な理由が有ります。

しかしDVが子供に与える影響は甚大です。DV家庭では、子どもも直接虐待を受けていることが多いのです。また、直接子どもへの虐待が無くとも、DVの目撃による精神的な影響が有ります。学校や社会の中で対人関係をうまく築けないなどの問題が起きることも有ります。

心を元気にするための母と子の為の心理教育プログラム、これが「びーらぶ」です。子どもプログラムは心に大きな傷を抱えた子どもたちが、同じような体験をした仲間と一緒に、遊びや人形劇などを通じ「自分は大切な存在であること」を知り、「暴力的でない関係の作り方」を学びます。

母親プログラムでは「暴力の構造」について学び、ミーティングやワーク・ロールプレイなどを通して「自分の力を取り戻し」、「自分も子どもも尊重するかかわり方」を学びます。

思い当たるお子さんや、保護者にも支援が必要ではないかと考えられる方がいた場合、

ぜひ専門の機関につないでいただきたいとお話で講演を終わりました。DVの窓口は県のDV担当です。電話は048(830)2925です。

(文責・関口)

DV被害をうけた女性とその子どもが  
同時並行で学べる  
心理教育プログラム「びーらぶ」

子どものプログラムでは自由遊びやおやつ  
の時間も有ります！

就学前  
(年中・年少学年)  
小学校低学年  
(1・2・3年)  
のプログラムが  
あります。

母親と子どもはそれぞれ  
同じテーマの  
プログラムをうけます

安心・安全な場  
暴力的でない  
関係の作り方を  
学んでいきます

母親のプログラムでは  
グループでの話し合いや  
ワークの体験から  
自己肯定感を  
高めます

同じような経験をした  
女性・子どもと一緒に  
プログラムに参加  
します

H28年度「びーらぶ」開催予定

※申込は ☎048(830)2925

実施地区	対象	回数	実施期間	時間
中央・南部地区	未就学児	5回	7月～9月の土日	13:30～ 15:00
北地区	小学低学年	5回	9月～10月の土日	13:30～
東地区	小学低学年	5回	12月～1月の日	13:30～
西地区	小学低学年	2回	2月の日	13:30～

## 平和と教育を考えるツアーで四回目のルワンダへ

ルワンダの教育を考える会 倉持 睦子

NPO 法人ルワンダの教育を考える会のツアーに参加してルワンダに行つて来ました。ツアーの参加メンバーは高校生から最年長の私まで二十人、日本各地から成田空港で落ち合い、乗り継ぎ地のドーハ空港ロビーで自己紹介をかねた打合せを行いました。

考える会が二〇〇一年に首都キガリに設立したウムチヨムイーザ学園を訪問するのが主な目的ですが、他にも、約二十五万人の虐殺犠牲者が再埋葬された場所に設立されたキガリ・メモリアルセンターや野生動物が棲息するアカゲラ国立公園なども訪れました。

メモリアルセンターの虐殺記念館へは以前にも行ったことがあるのですが、今回は展示を見るだけでなく、片腕

を失いながらも虐殺を生き延びた男性の話や虐殺に関するドキュメンタリーによる研修もあり、改めて平和についても考える機会となりました。

虐殺記念館には子どもをテーマにしたコーナーがあり、犠牲になつた幼い子どもたちの写真が数えきれないほど沢山並べられています。その展示の最後に虐殺を乗り越えて成人した若者の大きな写真が数枚あり、両親を殺されて心に大きな傷を負つたこと、父親を殺された時に母親に復讐を考えてはいけなと言われたこと、苦しんだのは自分だけではなかったことに気が付いたことなどのコメントが添えられていました。その中に父親が虐殺に関わつて今も刑務所にいる女性の写真もありました。他の若者の写真は笑

顔で前を向いているのですが、「父親には罪を認めて謝罪して欲しい。今も刑務所に通つて説得している。」と述べる彼女だけは下を向いてうつむいていました。加害者が罪を認めて謝罪することで前に進んで来たルワンダの人達の心境を象徴した展示でした。

虐殺を逃れて日本へ来たマリールイズさんの「平和のためには教育が何よりも大



切」との信念から設立されたウムチヨムイーザ学園は、今では十五教室に増えて幼稚園と小学生で二百三十人程の規模になりました。ルワンダでは珍しい音楽の授業や「教育なども導入され年々充実しています。昨年は念願の給食がスタートしました。お昼食が用意出来ない家庭もあつて、お腹が空いたと泣く子どもも居たそうですが、栄養に気を配つた美味しい給食を皆で食べられるようになりました。給食費を払えない親は調理など学校の仕事をしています。親たちが食事の内容や給食費などについて話し合いを持つことで学校教育全体に対する意識も高まり、地域にも良い影響を及ぼしています。

考える会としては初めてのツアーでしたが、得るものが多かったと好評でした。これを機にルワンダを訪れる人が多くなることが期待されます。





# 個人会員から



## 「学びや気づきを忘れずに」

山田 知加子

「第十三回男と女のつどい」の開催にあたり心よりお祝い申し上げます。

昨年まで私は人権推進課男女共同参画係として、女と男いきいきネットワーク理事の皆さまとともにこの日を迎えて参りました。今年も乗橋総合支所市民課に異動となり、つどいの準備に励む皆さまのいきいきとしたお姿に思いを馳せながら日々を過ごしております。

四年前、男女共同参画係の担当となった私は、右も左もわからず、担当者としてあまりに未熟でご心配をおかけしたことと思います。しかしネットワークの皆さまはそのよいうな私を、ひとつの個性としてありのまま受け入れ、寄り添ってくださいました。やがてお一人お一人の人柄にふれ、

それぞれに取り組んでいらっしやる活動の一端にふれることで「性別にとらわれず自分らしく生きる」とはどのようなことなのかを身近に学ぶことができました。

女と男いきいきネットワーク久喜は、高い見識と行動力と、しきたりや習慣の壁をしなやかに超えてなお前に進む力強さを持った女(ひと)と男(ひと)が、ゆるやかにつながる団体であると思います。皆さまとつながることで、私がたくさん「気づき」を得ることができたように「女と男いきいきネットワーク久喜」がもつともつと多くの人や団体とつながれたなら、久喜市の男女共同参画はさらに大きく広がっていくに違いないと思うのです。

担当としてそんなお手伝いがしたいと思いつつながら、多くをやり残したままになってしまいました。この四年間で得た学びや気づきを忘れず、自分の居場所で精一杯努める

ことごとご恩に報いたいと思えます。

また今後は女と男いきいき

### いきいきネット加入団体

ABC工房	エムツー	久喜おやこげきじょう
久喜きょういくを考える会	久喜市くらしの会	久喜市商工会女性部
久喜市舞踊協会	詩吟教室学心会	久喜地区婦人会
グループ・フォー	くきCAP	オリーブの会久喜
新日本婦人の会久喜支部	ヒッポファミリークラブ	杉の子会
ネットワーク子どもがまん なか久喜	女性問題学習グループ・ なの花会	NPO 法人子育てステーションたんぼぼ
NPO法人ハローハント キャップ・タイム	久喜地区更生保護女性会 久喜部会	その他個人参加者7名

きネットワーク個人会員としてお世話になります。今後ともどうぞよろしく願っています。

### 【編集後記】

●長らく「女と男いきいきネット久喜」の副会長として会を引っ張ってきただきった野矢さんと、こんなに早くお別れすることになるとは、残念でなりません。婦人会の会長だけでなく色んな役職を担い、久喜市のために一生懸命働いていた貴方に、私たちは敬意の念を表します。まだまだ男性中心のこの地域で、女性のリーダーとして活躍し、物言いを、一時代を駆け抜けていった野矢さん！私たちは貴方のバトンを受け継いで、これからも男女共同参画社会の実現に向けて力を合わせて頑張っていくつもりです。ずっとずっと天国から見守っていてくださいいね。(進藤)

### 【発行】

女と男いきいきネットワーク久喜  
代表 倉持睦子(22)4545